

令和5年9月28日

山都町議会議長 藤澤 和生 様

厚生常任委員長 吉川 美加

委員会審査報告書

認定第3号 令和4年度山都町病院事業会計決算の認定について

本委員会に付託された令和4年度山都町病院事業会計決算の認定については、審査の結果、次の意見を付けて、認定すべきものと決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

(意見)

令和4年度山都町病院事業会計決算においては、病院事業の決算認定について、議会の議決が求められている。

決算については、監査委員の審査意見書を踏まえ、審査した結果、令和4年度中の事業内容及び病院としての取り組み等について、これを適正と認め認定するものと決定した。

そよう病院は、熊本県と宮崎県の県境に位置し、隣接の阿蘇郡市からの受診者もあり、広域の拠点医療機関として重要な立場にある。医師や看護師、その他の医療従事者不足の課題は慢性的な印象があるが、専門的な診療科目については、熊本大学病院や、他の医療機関の協力を得てニーズに応える努力が見えることは評価したい。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症対応の病床確保のため、一般病床数は減少したが、病床利用率は79.9%と医療機関としての役割を十分に果たした。また、院内での感染予防対策の徹底で院内クラスターを起こさなかったことは大いに評価される。

病院が運営する訪問看護ステーションは、4名のスタッフで在宅での看護支援をしている。最近では自宅で看取る事のできる支援としての需要が高まっていると聞いた。今後もより充実した内容となり、在宅介護する家族の支えとなって頂くように努めて頂きたい。

病院長はじめ、地域に信頼される医療機関であることを目指していることの意志を強く感じた。今後も、町の公立病院として、上益城郡内唯一の救急告示病院としての役割を担って頂きたい。